

道具へのカンシャが芽生える体験を届けたい

草津の頑張る企業 Vol 39

リロ
lilo株式会社

所在地：草津市草津二丁目4-41
H P : <https://li-lo.jp>



代表
堀 勝通 氏



今回ご紹介するのは、今年の1月に、社長の堀さんと、副社長の古谷さんのお2人が共同で創業されたベンチャー企業、liloさんです。信楽と草津を活動拠点に、信楽で生まれた道具ブランドとして、陶磁器製の無水調理鍋「liloダッチオープン」を販売しております。実店舗を持たず、主にオンラインストアを通じて商品を販売するビジネススタイルで、「今は、ITの普及でSNSも拡大し、販売チャンネルが広がっているの、どこからでも、世界にでも出せるようになりました。」とおっしゃいます。実際に海外からの購入もあるそうで、どこ



でも、こだわりの良い商品を作り、発信することができるのですね。

創業以来、liloダッチオープンを300個以上売り上げた要因は、「手探り状態ではありますが、きっと、一番大きいのはブランディング。liloダッチオープンという商品は、機能面でもデザイン面でもこだわった商品で、良い商品だと自負していますが、それよりもliloブランド自体が持っているビジョン『道具へのカンシャを世界に届ける』というところに共感してくれた人たちが選んでくれているのではないかなと思います。」と堀さんはおっしゃいます。

世の中は、大量生産・大量消費の時代を経て、今はサステナブルやエシカルなどと謳った商品が動き出しています。創業されたお2人は、「それ自体は良いことだけでも、そういう商品ならば、大量生産し、捨てる良いということではない。そのもっと手前に、人間の道具に対する態度がそもそも変わらなければ真のサステナブルはないのではないかな」と考え、思わず愛着の湧いてしまうような道具を作り出すこ

とで、世の中にアプローチしていこうと起業されました。それを形にされたのがliloダッチオープンです。



「liloブランドに触れることによって、今まで道具をないがしろにしていたけれど大切にできるようになりましたというような、道具へのカンシャというちょっとした価値観を、1人1人が持ってくれたらすごくいいと思います。それがliloブランドであって、liloダッチオープンはその手段でしかない。本当は道具へのカンシャが芽生える体験を届けたいんです。」と教えていただきました。

創業して8か月ほど経った感想を尋ねると、「これまで県内の様々な団体にお世話になってきましたが、その中で共通しているのが、滋賀県を盛り上げたいという人がどこにも必ず1人はいる、自分たちを面白がってくれる人がいるんです。よい意味で滋賀県に裏切られましたね。」と笑顔で話しておられました。

今後は、まず小規模事業者持続化補助金で採択を受けたliloダッチオープン新型3種の作成に着手予定。その後は、食の領域での商品展開として、昔から有名な滋賀県の湖東織物をつかった麻布の商品などを検討中とのこと。また、百貨店や雑貨屋などのポップアップイベントへの出店も積極的に行なっておられます。今は当所の販売促進スキルアップ応援塾に参加されていて、今後、近鉄百貨店のいいもの発掘市にも出店予定です。

ぜひ皆さんもliloブランドに触れてみてください。きっと、liloさんの熱い想いを感じることができるはずです。

草津商工会議所では、今回ご紹介した販売促進スキルアップ応援塾などのセミナー開催や小規模事業者持続化補助金の申請など、販路拡大への支援を実施しています。ご興味のある方はぜひ経営支援課までお問い合わせください。